

家庭学習の手引き(6年生)

◎ 中学校に向けて、自分で計画的に学習する力をつけていきましょう。

◎ 「10分×学年数+10分」の「1時間以上」が家庭学習の目安です。

昨年度までの生活習慣チェックシートの記録から、子どもたちの中には出された宿題はやり切ることができ、自分の課題を踏まえて自ら学習することができていない子がいました。「途中式が不十分」「答え合わせの際、答えを写すだけになっている」「丸付けがいい加減」という姿もあります。大切なのは時間の長さだけではないということは、子どもたちとも確認していきます。

◎ 宿題や復習だけでなく、予習にも取り組みましょう。

6年生では、毎日の宿題に加え、さまざまな「自主学習」に取り組んでいけるようにしましょう。テスト前などには、見通しを持って学習したことを振り返ることも大切です。計画的に根気よく家庭学習を進める力は、やがて中学生になるみなさんにとって大切な力となっていきます。

※あくまで宿題は家庭学習の一部です。

◎ 「学び」の幅を広げて捉えていきましょう。

家庭には、学校ではなかなかじっくりできない「学び」に取り組めることがあります。例えば、家の衣食住（洗濯物を干す、料理をする、網戸の掃除をする など）に関することがあります。そういった経験は、人生を豊かにすることにもつながると思います。「お手伝い」ではなく、「学び」として捉え、家庭学習の一つにしてみてもいいでしょう。

1. 家庭学習の前すること

- (1) 学校でもらってきたプリントを出す。
- (2) 学習の準備をする。
 - ・ テレビを消す ・ 机の上を整える ・ 音楽を消す
 - ・ スマートフォンやゲームの電源を切る ・ 鉛筆を削る



2. 家庭学習に取り組む

宿題

- | | |
|-----------------|-------------------------------|
| (1) 国語（漢字など）の学習 | } ドリルやノート、プリント、ミライシードなどを使います。 |
| (2) 算数（計算など）の学習 | |
| (3) 音読 | |
| (4) 自主学習もしくは作文 | |

各教科の予習をして授業理解に活かしたり、復習をして学習内容を定着させたりすると良いです。

【自主学習の例】

視写、読書、日記、感想文、社会や理科の調べ学習、意味調べ、縄跳び、地図を見て覚える、資料集を見る、社会の表を作る、人物調べをする、教科書を音読する、漢字ドリルを音読する、自分で実験を試みる

3. 家庭学習が終わってからすること

明日の予定を合わせる、持ち物の準備をするなど、自分の責任で確実にしましょう。